



湾岸・アラビア半島地域ニュース

オマーン：ドルフィン計画によるカタル産ガスのオマーンへの輸入 (9月24日付オブザーバー紙)

24日付現地オブザーバー紙は、ドルフィン計画によるカタル産ガスのオマーンへの輸入の開始見込みに関して報じている。

- 1.23日、ドルフィン・エネルギー社は、今年10月にオマーン側の受入準備が整い次第ドルフィン計画によるガス供給を開始すると発表した。
- 2.同社は、一日当たり平均200mscf(million standard cubic feet)のガスをオマーンに供給する内容のガス販売契約を、2005年、アブダビにおいてオマーン・オイルカンパニー(OOC)との間で署名している。
- 3.ドルフィン・エネルギー社は、同社パイプラインを通じカタルで生産されたガスをアブダビに輸入されたガスは、同社がタウィーラ(アブダビ)に有する受給施設でモニタリングを受けた後、同社のイースタン・ガス配給システム(EGDS)を通じ、アル-エイン(オマーン国境沿いのアブダビ都市)経由にてオマーンに輸出される。契約期間は25年とし、遅くとも今年10月31日までには供給開始が見込まれている。
- 4.ドルフィン・エネルギー社のセイヤー(Ahmed Al Sayegh)CEOは、「ガス販売契約は、2005年、UAE副首相兼同社会長であるハムダン(Shaikh Hamdan bin Zayed Al-Nahyan)殿下によって署名された。契約成立は、地域のガス供給網誕生を意味するものであり、同社一同この事業が来月成就することを待ち望んでいる」と述べた。
- 5.ドルフィン計画には、カタル北部ガス田での天然ガス生産及び加工、ドライガスの海底パイプライン輸送も含まれる。カタル-UAEを結ぶパイプラインは2007年7月に開通した。本計画でカタルから輸入されたガスは、いずれも25年の販売契約に基づきADWEA(アブダビ水・電気公社)、UWEC(ユニオン水・電気公社)、DUSUP(ドバイ供給公社)、OOC(オマーン・オイルカンパニー)に販売される。